### みなと SDGs パートナー 登録申請書

2022年 9月1日

#### 国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

### 1. 概要

企	業	•	団	体	名	秋田曳船株式会社
所		在			地	秋田市土崎港西二丁目5番9号
代	表者	役	職	・氏	名	代表取締役社長 西宮公平
+0	MZ	_±∠	<b>'</b> #	4.47	#	電 話:018-845-7095
担	当	有	建	給	先	メール:michio@kairiku.co.jp
ウ	ェブ	サイ	<b> </b>	U R	L	http://www.kairiku.co.jp/group/eisen.html

### 2. 港湾関係企業等としての事業の概要

秋田県内各港(秋田・船川港及び能代港)において、大型船やタンカー等の入出港船の着岸・離岸補助作業等に従事している。

日本郵船と、秋田県沖一般海域を中心とした洋上風力発電向けの CTV (作業員輸送船事業) における協業を検討する覚書を締結 (2021 年)。洋上風力産業は、脱炭素に向けて重要な電力源の産業と見込まれており、周囲から当社への期待も大きい。

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
□環境 √社会 □経済	人材育成として、上級海技免状取得に励み、 高度な知識のもと、より安全かつ高品質な作 業を提供する。	海技免状 3 級(航海・機関)取得率の向上 現状:80% 目標:100%
√環境 □社会 √経済	船用品を環境に優しいものに切り替えてい く。購入することで、それらを開発・販売し ている会社の成長を支援する。	環境に配慮した船用品への切り替え 現状:0品目 目標10品目
□環境 √社会 □経済	労働災害防止に向けた自主的な取組の継続を目指す。	現状: 船員災害防止優良事業者1級認定(2021年) 目標:1級認定の継続。船員安全推進賞の受賞(2028年)。

# SDGs達成に向けた具体的な取組

	カ						主な	SDGs	s (17	/ゴー	-ルと	: 169タ	<b>一</b> ク	デット	- )関連』	<u></u> 頁目			$\neg$
	テ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12   13	14	15	6	17
	ゴリ	7 – 7 7 7 1	併せて記載してください。)	15% Ř <del>ettě</del>	2 500	3 1570AF	4 manuant	<b>©</b>	6 PRESERVE	7 ERROF-BRANEC	8 ####	9 ######### 10	emanum aces	1 EARDINAL 1	13 ::::::	14 *(****** 11	16	TO SEE	<b>***</b>
1	人権・	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	採用条件に性別、国籍、出身などの条件は設けていない。					5.1			8.6		0.2				1	6.6	
2	労働	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体 制を整備している	「職場におけるハラスメント防止に関する規定」を設けている。 社内の相談窓口を本社業務課管理職、外部相談窓口を顧問社会保険労務士としている。					5.1									1	6.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	船員法に基づき業務を行い、過度な連続勤務にならないよう出勤日を乗組員間で交代するなど協力できる体制を取っている。								8.5								
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	外航船(外国人船員乗船)の曳船作業においても、互 いの立場を尊重し合い業務を行っている。				4.4					1	0.2						
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	作業前ミーティングでは、その日の作業内容、注意事 項を確認し、安全作業に向けた打ち合わせを行ってい る。			3.3													
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる				3													
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の 整備に取り組んでいる	性別、国籍等の条件を設けず、採用活動を行っている。					5.4			8.6		0.2 0.3						
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	乗組員は上級海技免状の取得に励んでいる。また、全 船長にアンガーマネジメント講習を受講させている。				4.4	5.5			8.6								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している						5.5			8.5		0.2 0.3						
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	毎年、会社が指定する健康診断を全社員が受診している。			3.3					8.6 8.7								
11	環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	廃油は専門業者に引き取りを依頼し、その後再生燃料 として利用されている。											11.6	12.4 12.5				
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている								7.3					13				
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている								7.2 7.3					12.4 13.3				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に 取り組んでいる				3.9			6.3					11.6	12.4				

ſ	カ     主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																			
	テー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14			
	ゴーリー	, _ , _ , _ , _ , _ , _ , _ , _ , _ , _	併せて記載してください。)	1 88 <b>MAR</b>	2 5000	3 Interest	4 ROB-BRY	<b>©</b>	6 season	7 the fraction	8 #### ****	9 ##25000	10 secto	11 11000	12 3011	13 ZEREC 13 ZEROUER	14 ****** 15	16 13	17 :	<b>8</b>
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	補油の際、燃料を海上に漏洩することがないよう、補油 チェックリストに基づき作業している。						6.3						12.4		14.1			
16		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6											
17		【環境マネジメントシステム】 ・IS014001、または同等の環境マネジメント規格を取得している				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している													12.6					
19		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる								7.2						13				
20		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15		
21	製品・コ	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	国土交通省の承認基準に適合したライフジャケットを全乗組員に支給し、着用させている。			3.6														
22	サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	船舶の入出港をサポートする立場として、休祭日の急な作業依頼を含め、365日対応できる仕組みを構築している。									9.1 9.2								
23		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる							6						12	13	14	15		
24		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15 1	16 1	17
25	社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	県内の高校を訪問し、洋上風力と地元企業の関わりについて、生徒向け基調講演を行っている。会社見学会も随時受け入れている。				4								12		14	15	1	7.7
26	献地域	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	「すべての生命が安心して生活できる社会の実現」に 賛同し、認定NPO法人への寄付活動を行っている。											11						
27	貢献	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	御中元・御歳暮等の贈答品は県内産のものを積極的 に利用するようにしている。								8.3	9.1			12.3					

Γ	カ						主な	SDGs	(17	ゴー	-ルと	:169	ター	ゲッ	<b>ト)</b>	関連 <sup>1</sup>	<u></u> 頁目		
	テー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14 15	16	17
	ゴリ	, エクク <del>ス</del> ロ	併せて記載してください。)	188 <b>Milit</b>	2 ***	3 10000000 -W-	4 FORMAN ALTE	5 SOLID-TREE REGIST	BENEFOR SERVICE	7 stad-dates	8 1122	9 111 1111	10 AMBORRA	11 11 11 11 11	12 3355	13 MARKE	14 Rosens 15 Ros	16 PROBLET	17 ::::::::::::::::::::::::::::::::::::
28	組織体制	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	社長が、品質方針・品質目標としてSDGsへの取組を全社員に対し周知し、毎月取組内容・達成度合について情報共有がなされている。								8.3	9.1							17.17
29	נינוו	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが 社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	社長が策定する品質方針において法令遵守が謳われ ており、法令遵守の重要性について確認されている。															16	
30		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備 している																16	
31		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー (※) との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす 影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)																16	17
32		・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジ	船員法、労働協約書、就業規則の遵守に加え、毎月 船長会議を開催し、リスクの特定・評価について話し 合っている。								8.6 8.7							16	
33		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき 企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	船舶の入出港をサポートする曳船業が、港湾物流の一部として欠かせないものであることを全社員が認識し、 責任感を持って取り組んでいる。									9.1 9.2						16	
34		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	曳船作業基準書に、海難処理要領を策定している。											11		13.1		16.6	
35		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている									8	9							17

## 上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9 10	) 11	12	2 13	14	15	16 17
船員労働災害防止優良事業者1級認定(国交省) 2021年取得	労働災害防止に向けた自主的な取組			3.3									13.1			16.6
優良会員認定(船員災害防止協会)2021年取得	安全、衛生教育の実施と災害防止活動			3.3									13.1			16.6

## SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地: 秋田市土崎港西二丁目5番9号

名 称: 秋田曳船株式会社

代表者: 船木一美

登録年月日: 令和4年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
□環境 ✓社会 □経済	人材育成として、上級海技士免状取 得に励み、高度な知識のもと、より 安全かつ高品質な作業を提供する。	海技免状 3 級(航海・ 機関)取得率の向上 目標:100%	海技免状 3 級 (航海・機関) 取 得率の向上 現状: 79%
✓環境 □社会 ✓経済	船用品を環境に優しいものに切り 替えていく。購入することで、それ らを開発・販売している会社の成長 を支援する。	環境に配慮した船用品 への切り替え 目標:10品目	現状:5品目 ・除草剤は、土に落ちても自然 分解され、土壌・環境に優しい、 ものを選択 ・甲板油圧機械に使用するグ リースを、低臭気万能極圧型か ら、生分解性グリースに切り替 え ・食器用洗剤を天然由来のも のに切り替え ・トイレットペーパーを環境 に配慮したものに切り替え ・用紙使用枚数の削減により 廃棄物削減
□環境 ✓社会 □経済	労働災害防止に向けた自主的な取 り組みの継続を目指す。	船員災害防止優良事業 者 1 級の継続。目標: 船員安全推進賞の受賞 (2028年)。	船員安全推進賞(2018年)を目指し、船員災害防止優良事業者 1級継続中。

## SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地: 秋田市土崎港西二丁目5番9号

名 称: 秋田曳船株式会社

代表者: 代表取締役社長船木一美

登録年月日: 令和4年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
□環境 ✓社会	人材育成として、上級海技士免状取 得に励み、高度な知識のもと、より	海技免状 3 級(航海・ 機関)取得率の向上	海技免状3級(航海・機関)取 得率の向上
□経済	安全かつ個品質な作業を提供する。	目標: 100	現状:76%
✓環境 ✓経済	船用品を環境に優しいものに切り 替えていく。購入することで、それ らを開発・販売している会社の成長 を支援する。	環境に配慮した船用品 への切り替え 目標:10品目	現状:8品目 ・環境に優しい除草剤の使用 ・甲板油圧機械に使用するグ リースを生分解性グリースに 切り替え ・食器用洗剤を天然由来のも のにイレシーを環境 にポープリーをで によりたものに切り替え ・トで配慮したものに切り替え ・カールのでの によりの によりの にボールの での での での での での での での での での での での での での

			から環境にやさしい紙製に変更
□環場 ✓ 社会 □経済	り組みの継続を目指す。	船員災害防止優良事業 者 1 級の継続。目標: 船員安全推進賞の受賞 (2028 年)。	船員安全推進賞 (2028年) を目指し、船員災害防止優良事業者 1級継続中。

## SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地: 秋田市土崎港西二丁目5番9号

名 称: 秋田曳船株式会社

代表 者: 代表取締役社長船木一美

登録年月日: 令和4年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
□環境 ✓社会 □経済	人材育成として、上級海技士免状の 取得に励み、高度な知識を基に、よ り安全且つ高品質な作業を提供す る。	海技免状 3 級(航海・機 関)取得率の向上。 目標:100%	海技免状 3 級(航海・機関)取得 率の向上を継続。 現状: 79%
✓環境 □ ✓経済	船用品を環境に優しいものに切り 替えていく。購入することで、それ らを開発・販売している会社の成長 を支援する。	環境に配慮した船用品 への切り替え。 目標:10 品目	現状:9品目 ・環境に優しい除草剤の使用 ・甲板油圧機械に使用するグ リースを生分解性グリースに 切り替え ・食器用洗剤を天然由来のも のに切り替え ・トイレットペーパーを環境 に配慮したものに切り替え ・ロコピー用紙使用枚数の削減 にボールの発棄物削減 ・ボールので変更 ・ガーンナー(SDS)シート付)に 変更 ・デプラテープをビニール製

			から環境に優しい紙製に変更
			・プラスチック製(一部金具)
			のファイルを環境に優しい紙
			ファイルに変更
□環境 √社会 □経済	労働災害防止に向けた自主的な取 り組みの継続を目指す。	船員災害防止優良事業 者1級の継続。 目標:船員安全推進賞 の受賞(2028年)	船員安全推進賞の受賞(2028年)を目指し、船員災害防止優 良事業者1級資格保有を維持。